

Share
アール

【登場人物】

- 有島 早希 シェアハウスの住人。記憶障害の過去がある
- 小野寺 香織 シェアハウスの住人。故人
- 沢野 幸太郎 シェアハウスのオーナー
- 峰山 啓太 シェアハウスの住人
- 八代 陽平 シェアハウスの前の住人。昔、峰山と漫才コンビを組んでいた
- 河本 潤一 早希のバイト仲間。早希に片想いしている
- 藤堂 正和 東京から八代を訪ねてきた謎の男
- 古賀 平 シェアハウスの住人。怪しげな仕事をしている

【あらすじ】

舞台は関西。有島早希は「メゾン・サバンナ」というシェアハウスに住んでいる。大家の沢野と住人の峰山に手伝ってもらって、引越しの準備の真っ最中。早希は昔、事故で記憶を失った事があるが、何とか普通に生活出来るようになり、ここを離れようとしている。しかし当日引越し先でボヤ騒ぎがあり、一旦足止めを食らってしまう。そこに、昔の住人の八代が東京からふらっと訪ねてくる。八代はここに住んでいた時、峰山と漫才コンビを組んでいたのだが、ピンで売れ始め、半ば一方的にコンビを解消して、一人で東京に出て行ってしまったのだ。でも色々あって、今は落ちぶれかけている。仕事でこっちに来たという八代を、元相方の峰山や早希達は毒づきながらも暖かく迎えるが、八代はみんなには話せない事情を抱えている様子。再会を喜ぶ八代だが、そこにいるはずのもう一人がいない事に気付く。香織という、早希が姉のよう慕っていた住人の姿がない。実は香織は半年前に事故で亡くなっていたのだ。そしてその香織と早希の間には、当の早希すら知らない、他の住人だけが知っている根深い過去と秘密がある。

― 季節は春…

下宿屋(シニアハウス?)の一階の共用スペース。下手前に玄関に通じる出はけ口。下手後ろの出はけ口から先は二階の階段に続く廊下。上手後ろの出はけ口から先は、共用の洗い場と一階の住人の部屋が並ぶ廊下につながっている。共用スペースの部屋には中央にテーブル、椅子三脚。古いソファ、壁際に棚などがある。

部屋の脇の廊下にブルーシートが敷いてあり、引越しなのか冷蔵庫、電子レンジ、折り畳み式ベッドなどの他、段ボールや、衣装ケースなどが何個か積まれている。この家の住人の一人、有島早希が携帯電話で話をしている ―

早希

えー…えー…いやー…えー…困るんですけど…せやかて荷物もう…まあ

…うーん…まあ、ちよつと考えますわ(電話切つて、廊下をふさぐように積まれてる荷物を見て)…えー

― 下手奥から紙パックのジュースを飲みながら、どこか慎重な足どりで、この下宿屋の大家の沢野がやつてくる ―

沢野

どないしたん?

早希

火事なつた

沢野

は?

早希

引越し先

沢野

…マジで?

早希

うん

沢野

え、全焼?

早希

ううん、うちの隣の部屋だけ。ボヤヤから大したことはないみたいやねんけど

沢野

なんや、びつくりした

早希

せやけど水浸しやねんで。今日はおススメしませんでした

沢野

そらそーやろ

早希

おススメしません言われてもな

沢野

ホンマやな

早希

しばらくは業者の出入りあるみたいやから来てほしくないみたい。あそこ道狭いし

沢野

どないすんねん

早希

うーん…言うてもこつちに落ち度ないし

沢野

そらそーや

早希

えーわ、行くわ。ここまでやって来るな言われても。もしかしたら…ちゆうか多分、ちよつと離れた位置に車止めて運ばなあかんかもやけど、申し訳ないけど

沢野

申し訳ないけど

早希

え?

沢野

さつきコイツ(冷蔵庫)運んだ時に、腰やつてもうたみたいでな

早希

腰?

沢野

その時は大した事ない思たんやけど、今猛烈に痛みだしとんねん

早希

えー

沢野

俺、ポーカーフェイスやから全然わからん思うねんけど、今めっちゃ泣きそうやねん…泣

早希

いてもええか?57歳やけど

早希

とりあえず座つたら(座らせようとする)

沢野 触るなあー……ッあああああー……大きな声出しても痛いねん。座るとか絶対無理や。余

計負荷かかる

早希 どないしたらええん？

沢野 どうしようもない。やさしく見守ってくれ
早希 分かった

— やさしく見守る —

沢野 (飲んで)くそッ、ジューズも味わかれへん！

早希 ウエルチャのに！

沢野 そないな訳やからもう俺はお役には立てん
早希 なんか逆にごめんなあ

— 一階の住人の古賀が来る。スーツ姿だが、どこか怪しい雰囲気的中年男。キャリーバック
を持って玄関に向かう —

古賀 あー、早希ちゃん今日引越しなんだ？

早希 あ、そうなんです。お世話になりました

古賀 なんにもしてないよ

沢野 ホンマになんもせーへんな自分

古賀 ごめんねえ、困ったことがあったらなんでも言ってくれ

沢野 今ちよつと困つとんやけどな

古賀 どうしたの？

早希 腰痛めてもうたみたいで

沢野 俺の代わりに引越し手伝ってやってくれへんか

古賀 あのねえ、僕ねえ、これからセミナー行かなきゃいけなくってねえ、申し訳ないんだけど

早希 大丈夫ですわ

古賀 僕が行かないとねえ、始まらないから

早希 行つてらっしゃい

古賀 あ、そうだ。これねえホントは売り物なんだけど(バッグから何か取り出す)、良かったら

沢野 なんや？

古賀 ホントはねえ、8万円くらいするんだけどね。いつもお世話になつてるから

沢野 8万？

早希 コルセットや

古賀 ネオジム磁石を特殊な配列で組み込んだ特殊な商品でね。いいんだ、これ

沢野 いらんわ、そんな怪しい商品

早希 言うてる場合ちゃうやん。もろときます

古賀 じゃあねえ、もう行かないと、僕がいかないとねえ、始まらないからあ

早希 聞きました

古賀 じゃあね、元気でね

早希 はい

— 古賀、出て行く —

沢野 なんやアイツ、「あのねえ、僕ねえ」気持ち悪いわあ

早希 でも良かったやん。付けたら？8万円

沢野 こんなもんが。怪しい商売してから

――二階から住人の峰山啓太が下りてくる。引越しを手伝っている様子。カロリーメイトを食っている――

峰山 ……(積んである荷物の前まで来て)トラックに運んでまう？

早希 につちもさつちもいかんようになってもうて

峰山 は？

沢野 引越し先火事になってもうてん

峰山 マジで？

早希 お隣でボヤやけど

峰山 いつ？

早希 今朝がた。燃えたてのほやほや

峰山 笑えんな

沢野 あと、俺の腰がいかれてもうた

峰山 なに？ぎっくり？

沢野 呼吸しても痛い

峰山 マジで？笑える。

沢野 アホー

峰山 ほな……中止？

沢野 これは、神様が行くな、言うてんちやうか？

早希 あんなもん全然アテにならんがな

沢野・峰山 (同時に)ホンマや

早希 とりあえずお昼にしよか？出前頼むわ、臈月飯店。天井でいい？

沢野 おう、大盛りで(ゴルセットを装着しに自分の部屋へ)

早希 啓ちゃんは？

峰山 (無言でカロリーメイトを示し)

早希 あ、そ

――峰山も一旦、二階の自分の部屋へ戻る。早希、携帯を取り出して電話する――

早希 ……あ、もしもし……おー、さすが……天井2つお願いします、あ、1つ大盛り……うん、そ

うなんですすよ……またまた……そやね、最後の出前

――電話の途中から、小野寺香織が部屋に入ってくる。電話している早希の様子を見ている

早希も香織に気付く――

早希 はい……はい……お、やったー……はい、ほな、お願いしますー(切る)

香織 サービスしてくれるて？

早希 うん、大エビ付けてくれるて

香織 愛されてるねー

早希 うん……ええ人ばかりや

香織 ……

早希 ……名残惜しいわー

香織 4年半かあー

早希 うん

香織 別に出て行くことあれへんのとちやうのん？

早希 ……せやけど、ここにおつても

香織 ……
早希 せやけどどうしよー
香織 火事て(笑)
早希 おっちゃん腰やってまうし
香織 これは神様が行くな言うてんちやうか？
早希 せやから奴はアテにならんて
香織 ホンマやで。ちゃんと仕事しとんか、奴は
早希 仕事なんや
香織 どうせ高い時給もらつとんやで
早希 ん？神様に時給払つとるそのお方は何者なん？
香織 ……ホンマや、誰や？…え？そいつ誰や？！
早希 知らんがな
香織 あ
早希 え？
香織 ……ピリケンさん？
早希 いやいやいや位下がつとるがな
香織・早希 (笑)

— いつの間にか沢野が戻って来ていて、様子を見ている —

沢野 ……頼んでくれたけ？
早希 あ、うん。あれ？動きがシャープやん？
沢野 うん、これな、凄いわ
早希 特殊な磁石が入ってるからや

— 沢野と早希が話し出すと、香織、何も言わずに去る —

沢野 磁石の力やな。鋼鉄ジグや
早希 ……
沢野 ……鋼鉄ジグ
早希 ……
沢野 ……ハニワ幻人とか
早希 ごめん、ひっぱられても、何言うてるか、さっぱりや
沢野 ……せやけどな、あれを運んで行く自信はないわ
早希 うん。せやね、さすがに今日は諦めようかな引つ越し
沢野 そうしてくれると助かるわ
早希 ほなこれ、もっぺんに運んでくれる？
沢野 うん、よっしゃっ！ってお前しばくぞ
早希 いたいな娘にしばくて
沢野 何がいたいけや。いたいんは俺の腰やつちゅーねん
早希 せやけどここに置いたまんま言う訳にも
沢野 かまへんがな、
早希 他の住人の方の迷惑に
沢野 住人なんてさっきの気持ち悪い詐欺師と人生持て余してる野良犬だけや
早希 野良犬で啓ちゃん？それはあんまり…ああ…うん
沢野 納得したんなや

— 玄関の方から男(藤堂正和)が入ってくる。気弱そうな物腰と風貌 —

藤堂 ……あのー

沢野 はい

藤堂 すいません、玄関開いてたもんだから、勝手に入っちゃいました

沢野 ええですよ、常にオープンやし

藤堂 あのー、こちらメジン・サバンナで間違いないでしょーか？

沢野 そうやけど

藤堂 あー、住人の方ですか

沢野 住人つちゆうか。大家やけど、あ、ちやうわオーナー？

藤堂 あー、そうですか。ちやうど良かったです。あのー、こちらの下宿にですね…

沢野 シェアハウスや

藤堂 は？

沢野 下宿とちやう。シェアハウスて呼ばれてます

早希 呼ばれてないやん、呼ばせとんやん

藤堂 あー、失礼しました。こちらのシェアハウスにですね

早希 シェアじゃないですよ

藤堂 は？

早希 伸ばさない。シェアハウスです

藤堂 あー、失礼しました。シェアハウスにですね

沢野 シェアします？

藤堂 え？はい？

沢野 部屋空いてるで。また一人引越しするし

藤堂 あー、お引越し中なんですね。すいません、お忙しい時に

沢野 見たらきつと住みたくなる

藤堂 えーと…

沢野 まーとりあえず上がり、話はそれからや

藤堂 あのですね

沢野 ええから。こつちや(強引に奥へ)

藤堂 そうですか、じゃあまあ、お邪魔して…

沢野 一階も空いてるけど、二階の方がええよね？

藤堂 あー、そうですね。といたしますか…

沢野 どつちや？！

藤堂 あ、はい。どちらかと言えば二階

沢野 今、汚い野良犬が一人住んでるだけやから

藤堂 あ、こちら。ベト可なんですか？

— などと言いながら沢野、藤堂を連れて二階に。と、間を空けずして出前の岡持ちを持つ

た河本潤一が玄関から走り込んでくる —

河本 早希さん！！

早希 あ、(岡持ちを見て)え？何で？

河本 早希さん！！…早希さん！！…早希さんツ！！…

早希 なんや？！

河本 (引越しの荷物を見て)あぁっ！！マジか…！！

早希 なんでアンタが出前持って、バイト変えたん？

河本 臆月でご飯食べてたら、マスターが最後の出前とか言つて
早希 ああ
河本 だから僕が行きますつて言つて。えー？引越しなんて……。いや、聞いてない聞いてない
早希 言うてへん言うてへん
河本 え、どこに？
早希 南の方
河本 ざっくり！！
早希 大丈夫やて。そんな遠ないし、車で……。小一時間くらい？
河本 遠いじゃない！
早希 別に外国行くわけちゃうねんから
河本 会えなきゃ外国行つてんのと変わんないよ。え？なんで？なんで言つてくれないの？
早希 なんで？なんであんたに言わなあかんの？
河本 冷たい
早希 あんた今日バイトは
河本 休み、久々の
早希 あ、そうなんや
河本 早希さんの抜けた穴をフオローしようつて頑張つてたのに
早希 ありがとう。ごころうさん
河本 この一週間二人分働いて、死に物狂いで働いて、
早希 はいはい
河本 逢えないのは辛かったけど、死に物狂いで働いて、もう、死に物狂いで
早希 恩着せがましい男は嫌われるで
河本 そしたら急に引越すつてどういふこと
早希 それ、もろてええの？
河本 あ、うん。えーと、1500円になります
早希 代わりに出しといて
河本 (素直に)うん、わかった

— 二人、テーブルの方に行く。河本、岡持ちから井ぶりを出しながら —
河本 ねえ、やめようよ引越し
早希 何言うてんねん。ここまでやつて
河本 あ、そうだ。じゃあ僕の部屋に越してきたら？
早希 何が「あ、そうだ」や、意味わからへんし。あれ？二つしか注文してないで
河本 あ、これ僕の。食べてる途中だったから一緒に持つてきた
早希 ……
河本 (食べながら)ねえ、なんで？あ、沢野さんにセクハラされた？
早希 そんなんされて……。腰に手え回すとかセクハラ？
河本 セクハラだよ！
早希 ほな、されてるけど。そんなんで出て行くかあ
河本 じゃあなんで？
早希 ……(しみじみ)この味ともお別れかあ
河本 ちよつと—

— 二階に行っていた沢野と藤堂が下りてくる —

沢野 な、わりと綺麗にしてるやろ
藤堂 そうですな、わりと
沢野 即入居出来るから
藤堂 でもなんか…変な匂いしますね
沢野 変な匂い？(河本に気付いて)おう、来とったんか？
河本 なんで教えてくれなかったんですか
沢野 何をや？
河本 早希さん引越すつて
沢野 なんでお前に教えなあかんねん(河本の方に)
河本 なんてつて、あーもう！近付かないでくださいよ、今メシ食つてんですから！
沢野 何がや？
河本 足！！臭いから！ほらあ、スリッパ履いてないし
藤堂 ああ…(納得した様子)
沢野 ……ああ、あつたかなつてきたしな、ぼちぼち(いつらの季節がくるな
河本 まだ夏前なのに
沢野 あ、天井もお(近づく)
河本 (離れて)来ないでくださいつて！
沢野 神経質やねん自分。見てみい、早希全然気にしてへんやんけ
河本 我慢してるんですよ、大家だから
沢野 オーナー言え
河本 パワハラですよ、あとセクハラ、ダブル！(早希に)ね？
早希 今まで敢えて口にはせんかったけど
河本 ほらあ！
早希 実は全然気にならへんねんけど、この匂い
河本 ほらあ！…ええええー！！
早希 それどころか、むしろ嫌いやないねんけどこの匂い。(嗅いで)…
うん(飯を食う)
河本 洗脳だ
沢野 見てみい、分かる奴には分かるねん
河本 何が？
沢野 お前早希狙つとんやったらこの匂い好きにならんとあかんで
河本 なんで？
沢野 価値観の共有つて大事やし
河本 え？
早希 うん、この匂い嫌い言う人とうよう付き合わん
河本 そんな…
早希 ところであの人がほったらかしでええの？

— 藤堂、三人のやりとりをずっとにこやかに見ていた —

沢野 あー、せやつた。どないする？決めてまう？
藤堂 あー、いや、先ほども言いそびれたんですが、私、別にお部屋を見に来たわけじゃなく
て…
沢野 (大層驚いて)さっき部屋探してる言うたやんけ！！
藤堂 えーつと…あれ？
早希 言うてないで。一言も

藤堂　なんか強引に連れて行かれたから。すいません、断れない性分で
河本　(沢野に)そういうとこですよ
沢野　うるさいな！ほな、何の用や？！どこの馬の骨や！（あからさまに横柄に）
早希　そういうとこ！
藤堂　ちよっと人を探してて。八代陽平さんてこちらに
沢野　八代？
藤堂　はい
沢野　昔住んどったけど、もうとつくにおらんぞ
早希　今は東京に住んでるはずですけど
藤堂　ええ、それは知ってるんですが、こつちに来てるらしいって聞いたもんですから
沢野　なんや？仕事で？地方営業？
藤堂　さあ、わかりませんが。いらしてませんか？
沢野　来てへん

―― 峰山、コンビニに買い物に行くため二階から降りてくる ――

早希　あ、啓ちゃん、その人ヤッシー訪ねて来はってんけど
峰山　え？
沢野　そいつ八代のツレやつたから
峰山　もうツレやないですよ
藤堂　あ、もしかして峰山さんですか、八代さんとコンビ組んでたつていう
峰山　アイツとはもう関係ないんで

―― 峰山、ぶっきらぼうに玄関口へ去る ――

沢野　ちゆうかここには来うへん思うぞ
河本　一年ぐらい前にここを出て行つてから全然連絡ないんで
藤堂　あ、そうなんですな
早希　薄情やわ
河本　ちよっと売れたからつてね
早希　ヤッシー・・・八代くんになんか？
藤堂　いえ、用つて程のことでもないんですが・・・そうですか、残念です。あ、これ、もし良かったら(紙袋から箱を出して)
沢野　なに？
藤堂　地元の名産です。ちよっと買い過ぎちゃつて(丁寧に全員に配る)
沢野　へえ、悪いねえ
藤堂　じゃ、失礼します(丁寧に挨拶して去る)
沢野　住みとなつたらいつでも――！
河本　なんですかね？
沢野　追っかけちゃうんか？
河本　追っかけ？
沢野　あいつピンで売れ始めたころまだここにおつたやん。時々ファンの人訪ねて来はつたぞ
早希　そんな感じでもなかつたけど
河本　オジサンじゃないですか
沢野　あいつ気持ち悪いオッサンのファン多かつたぞ
早希　気持ち悪いは失礼やろ

沢野 あいつ妙に男にモテるやん。変なフェロモン出しとんやろ
早希 ああ……て、ああやないわ
沢野 峰山かて
早希 まあそれは
河本 ふーん、生意気な。一発屋のくせに
早希 厳しいな
沢野 東京出て行った途端、急降下しよったもんな
河本 所詮は人のふんどしですもん
沢野 まーせやけど
早希 (食へ終わって)こちそうさん。マスターに美味しかった言うといて(二階に)
河本 あ、うん。……あ、引つ越し
早希 (オフで)今日はもうやらんねん。(戻って)あ、せや、でも手伝ってくれるんやったら……
河本 絶対やだ
早希 しょーもな(去る)
沢野 引つ越しは延期や
河本 延期?
沢野 俺、腰やつてもうて。あと引つ越し先が火事
河本 火事?!
沢野 ボヤやったけど
河本 ……全部燃えたら良かったのに
沢野 なんちゆうこと……お前目えマジやぞ
河本 大丈夫なんですか?
沢野 何がいや?
河本 何つて、ここを離れて一人で生活するつてことですよ
沢野 なんの問題もないやろ
河本 でも事故の前のことつて、まだ全然なんですよ?
沢野 ……
河本 不安じゃないのかな?
沢野 そんなんあいつの勝手やがな
河本 冷たいな
沢野 うるさいな、大丈夫や。お前よりよっぽどしつかりしとるがな
河本 何言つてんですか。大概の人間は僕よりしつかりしてますよ!
沢野 お前言うてて恥ずかしならんか?
河本 大体なんでここを出て行く必要があるんです
沢野 ……お前は知らんやろけどな……ここに来た時は箸の持ち方も忘れとったくらいやねん
河本 ……
沢野 まとまった金も持つとるし。なんも心配いらへん
河本 ……
沢野 ……ホンマに臭いな
河本 自分の足でしよ
沢野 いや、ますますバージョンアップした気がする。新たな菌が発生したんか
河本 勘弁してくださいよ
沢野 メシ食うてられへん。消臭スプレーかけてくるわ(自分の部屋に)
河本 (付いていく)ねえ、早希ちゃんどこに引つ越すんです?
沢野 お前には教えるな言われてる
河本 なんで?

— 二人去る。誰もいなくなるところで、玄関の方から慎重に中の様子を伺うように、手荷物を持った男(八代陽平)が入ってくる。まとめられた荷物をちよつと訝しげに眺めて、懐かしむように部屋の様子を伺う —

八代 ……くさ。さつきまでここにおつたな……変わらん

— しばらく部屋の様子を伺った後、ソファに腰を下ろしてくつろぐが、何を思ったのか一人でブツブツと喋り始める —

八代 ……(小声で)あ、久しぶり……元気にしてるん? いやー一年ぶり、変わらんなあー、ここも……ごめんなー、全然連絡せえへんで、忙しかつてん……いや、仕事でこちまで来る用事あったから、ちよつと寄つてみたんやけど……(立ち上がつて、さつきより大きな声で)あ久しぶり、元気にしてるん? いやー一年ぶり、変わらんあー、ここも……

— 途中、峰山がコンビニから帰つて来るが、八代は気付かない。八代が一人で喋り続けている様子を、峰山は凝視している —

八代 ごめんなー、全然連絡せーへんで、忙しかつてん、いや、仕事でこちまで……(峰山に気付く)……!! (今度は峰山に)あ、久しぶり、元気にしてるん? いやー一年ぶり、変わらんあー(ここも)

— 峰山は無視してそのまま二階に。その背中に向かって練習した挨拶を続ける八代 —

八代 ……いや、仕事でこちまで来る用事あったから寄つてみたんやけど、なあ誰か引越すんコレ? なあ! ……なあて! ……なんや、無視することないやん

— ふてくされてソファに座つたところで沢野と河本が戻つて来る —

八代 あ…

沢野・河本 ……

八代 ご無沙汰してます

沢野・河本 ……

八代 ……いやー仕事でこちまで来る用事あったから寄つてみたんやけど

沢野・河本 ……

八代 ……あのー?

沢野 ……(河本に)こいつ誰や?

河本 さあ、ちよつとわかんないですけど

八代 いやいやいや

沢野 え? お前、……八代か?

八代 はい、ちよつと仕事でこちまで来たんで…

沢野 えらい太つたやないか

八代 あー……えーまあ、でも、200キロくらい?

沢野 最近めつきりテレビで見かけんようになった思てたら、そんなことになつたんか?

八代 そんなに? え? じゃあさつきアイツ、俺つてわからんかつたんか?

沢野 なんでまた

八代 なんで? ……食べたから?

沢野 ちゃう！何しに来たんや？
八代 せやからさつきから言うてますやん、仕事で近くまで来る用事あったから寄つてみ…(河本に)さつきから何をニヤニヤ笑てんねん！
河本 (嬉しそうに)大変？…ねえ大変？
八代 何が？
河本 だつて今干されてるんじゃないの？
八代 …アホなこと
河本 だつて、ねえ
沢野 おう。何ちゅーんやつたつけ？韓国のある、俳優。ど根性ガエルみたいな
八代 …ピョン・ドンゴン
沢野 おう、それや。せいももうあかんねやろ
八代 あかんとか…
河本 韓国で不倫は日本以上に洒落にならないらしいですよ
八代 関係ないやろ
沢野 関係ないことあらへんやろ。お前せいとそつくり言うだけで仕事もろてたんやんけ？
八代 それだけで仕事もらえろほど、甘い世界では
河本 いやー、こゝまで明確な栄枯盛衰、なかなかお目にかかれなから
沢野 短期間で一気にいったもんな(手でグラフを表現)こー！こー！
八代 まだそゝまでいつてへんわ！
河本 まだ？え？まだつて言った？
沢野 そうやな、こゝからが本番や(さらに下げて)さらに、こー！こー！
八代 やめてくれー！

— 早希、二階から降りて来る —

河本 お、早希、助けてくれ！
早希 …え？誰？
河本 お前もかい！
早希 え？ヤッシー？
河本 元気そうやん、いや、ごめんなー、ろくに連絡も…
早希 なんてこんなひどいことになつてるん？
河本 関西人つてやっぱりズケズケ言うよね
早希 糸ミミズみたいに細かった人が
河本 その例えもどうやろ
早希 あ、もしかして役作り？
河本 あ、うーん、近い
沢野 そんな訳あるかい、(グラフを表現)今こーやぞ
河本 しつこいな
早希 あー、やっぱりもうあかんねや
八代 あかんとか
早希 せやかて、ピンで仕事来始めたんで、あの韓国のピョン…ピョン…
八代 ピョン・ドンゴン
早希 それが日本でもこゝつ人気あったからなんやろ。
河本 それを自分の実力だつて勘違いして
早希 相方の啓ちゃん捨てて
沢野 そしたら、せいと不倫して日本でも人気なくなつて、当然お前の顔も見たないつて干されて

没落の一端を辿る今やろ

八代 さつきからええかげんにしてくれ！せやから、イメチェンしよう思つて

沢野 イメチェン？

八代 一緒に落ちていく訳にはいかへん。体重増やしてピヨンのイメージから離れよう思つて

河本 あー、そういうことね

早希 うまくいったん？

八代 それがないだ。ピヨンの最近の画像チェックしてみたら、ストレスなんかめっちゃ太つてて、結

果前以上に似てもうて、俺何のために太つたんか！

沢野 最悪や

河本 運命共同体なんだよ

早希 啓ちゃん捨てたから罰が当たつたんや

八代 罰つて。ここつていうタイミシングを逃してまうとこの世界は・・・あと、アイツと離れたんは、

まあ、それだけやないですよ

沢野 へえ、何でなん？

八代 ……わかつて聞いてるでしょ？

沢野 いや、(早希達に)何の事や？

河本・早希 さあ？

八代 ……あいつ、ちよつと変わつてるでしょ？思い入れが強すぎるつていうか

沢野 よう、わからへん

早希 人はみんな違つて、みんないい

八代 そういう(こと)やのうて)……もうええわ

— いつの間にか峰山が来て、物陰からこっそり覗いてる —

早希 で、啓ちゃんにはもう会つたん？

八代 うん、さつき…せやけどアイツ俺やつてわからんかったみたいで

沢野 アホか

早希 分かんわけないやん、100キロも増えた訳やないのに

八代 え、さつき

早希 からかつただけや…(峰山に気付いて)あー！

— 峰山出てくるが、八代に対して半ば背を向ける感じで —

峰山 ……何しに来てん、今更

八代 ……いや、まあ

峰山 携帯の番号いつの間にか変わつてるし

八代 うん、ごめん

峰山 連絡断つたいうことは、縁も切つたいう事なんやろ

八代 いや、そういう事や…ないけど

峰山 ……最近どやねん、調子

八代 え？

河本 知つてるくせに

沢野 絶賛下降中や

八代 (沢野に)うるさいな！…まー…それなりに大変やけど。ピンチをチャンスに変えて…

ヒット&ランかなーつて

沢野 何言うとんねん

河本 痛々しい
峰山 こんなところで油売っててええの？
八代 いや、まあ……ちよつとこつちで仕事入つて……久しぶりにふらつと寄つてみたんや
峰山 ちゃんと食うてんの？
沢野 見たら分かるやろ
河本 めつちや食べてるよ
早希 前の方が良かった
八代 うるさいつちゆうねん！……ん、まあ、なんとかな

―― 峰山、八代の方へゆっくり近づいていく。しばしじつと八代を睨んでたが、突然熱い抱擁

峰山 ……お帰り
沢野 よかつたよかつた
河本 復縁
早希 やつぱりお似合いやね
八代 (振りほどいて) いやいやいや、別にお前のもとに帰つて来た訳やないから
峰山 誰もそんなこと言つてへんやんけ
河本 まあまあまあ今日はとりあえず
沢野 二人で一緒にメシでも食うて、一緒に風呂入つて、……一緒に寝たらええんとちやうか
八代 おかしいやろ
沢野 おかしい、なあ
早希 うん、ええ思う
峰山 (沢野達に) やめてくれ、そういうんちやうから
八代 そうや
峰山 こつちで仕事つていつまで？
八代 えーと2, 3日は
峰山 どこ泊まつてるねん？
八代 事務所が取つてくれたホテル。せやけどなんか居心地悪うて
沢野 なんだや？
八代 ……ええホテル過ぎて
沢野 ……ふうん
八代 せつかく来たし、あ、もうこいでええかも
沢野 (早希と河本に) おかしいか？
河本 もしかしてホテル代も出してもらえないとか
早希 仕事で来てんのに？
峰山 ほな、俺の部屋来いや
全員 おおー！
八代 いや、俺、こいでええわ。毛布貸してもらえれば(沢野に) いいですよね？
沢野 あかん、こんなところで寝られたら困る
八代 なんだ？
峰山 アホ、お前体が資本やろ。風邪でも引いたらどないすんねん
八代 せやけど
峰山 俺の部屋来いや。なんもせーへんから
八代 当たり前や！……ほな、お邪魔するけど
全員 おおー！

八代 おおーてなんや？さっきから
沢野 こいつはずっと待ってたんや。一晩共にするくらい何や

峰山 やめてくれ、そういうんちやうから
八代 そうや

峰山 もっとプラトニックなもんやから
八代 そうや…違う！

峰山 (八代の髪を触って)髪はつさばさやないか、キューティクル足りてへんのんとちやうか
八代 さわんなや！あ、そうや、ついでやから香織に切ってもらおー思ってたんや。香織は？仕事？

峰山 ……

早希 ……風呂入ってくるわ

八代 ……ん？

沢野 もうおらん

八代 ……え？あ、もしかしてこの荷物つて、アイツ引越すん？

沢野 ちやう、亡くなった

八代 え？

沢野 半年前に

八代 ……え？

— 暗転…。

…暗闇の中で声 —

香織 ……なあ…なあ…早希…なあて！

— 明転、テーブルに香織と早希座ってる。過去の、ある夏の夜 —

早希 え？なに？

香織 自分今寝てたやろ

早希 え？寝てないよ

香織 嘘つけ、目つぶってめっちゃ船こいどったやん

早希 それはあれやん。人の話を真剣に聞いている時のあたしのスタイルやん

香織 そうなんけ？

早希 そうですがな

香織 ほなどこまで話したか説明してみ

早希 すいません、ウソをつきました

香織 早いなゲロすんの

早希 いやー、今日はちよつと飲み過ぎてもうて、…リアルにゲロしそう

香織 げ、やめて

早希 ゲロは出そうやわ、眠うて死にそうやわ、どないせーつちゆうねん

香織 そんなに飲んでへんやろ

早希 あとネエさんの顔と声って眠気を誘う効果が見受けられますわ

香織 喧嘩売つとんか自分

早希 何ていうか、カピバラに似てますよね？

香織 はあ？！

早希 いい意味です。怒っちゃダメ。人を癒す要素があります。カピバラ的です。いい意味で。

香織 それ言うたら何でも許される思うなよ

早希 あと声も聞いたつたらこう、気持ちよくなって、あ、口波とか出しとんちゃいますか？
香織 人を美空ひばりみたいになん？ひばり？……鳥の？
早希 人のや！昭和の歌姫や。知らんか？
早希 ……わたくしその方存じ上げないようす
香織 あ、そうかいな
早希 有名な方ですか？
香織 かなりな
早希 おそらく記憶を失う前は知っていたであろうレベルですか？
早希 早希、そやろな
早希 戻つてこいあたしのメモリー！！
香織 うるさいうるさい
早希 カピバラは覚えてたのに
香織 ムフがあるな
早希 ちくしょー
香織 まあまあええがな。それでも随分マシになったんやから
早希 そうですか？
香織 そうですよ。ここ来た当初は毎日ただボーっと座つて、あんたこそカピバラ的やったで
早希 カピバラづくしか！
香織 ン？あたし今突っ込まれた？
早希 お世話になっております
香織 いえいえ
早希 なんでそんな、ようしてくれるんです？
香織 ン？さあ、なんでやろな？
早希 これからお世話かけます(お辞儀)
香織 はいはい(お辞儀)

— 峰山と八代が連れだつて買い物から帰ってくる —

八代 買ってきたで
香織 おう、ご苦労ご苦労
八代 コンビニもつと近くにあつたらええのに
香織 ええやん、二人でラブラブ、夜道のデートや
八代 なんやそれ
峰山 やめてくれ、そういうんちやうから。ん(買ってきたビール渡す)
早希 げ、これ以上酔わせてどうする気
峰山 なんや、コイツ？気色悪い
香織 もうベロンベロンやねん
八代 そんなに飲んでへんやろ
香織 飲ますんやったら責任取つてや
八代 責任？
峰山 ゲロの処理
八代 絶対イヤや
早希 花火は？
香織 そうや、肝心なん
八代 はい

香織 (中見て)なんやこれ?しよっぱいのぼっかり。線香花火で、暗いねん。隅田川に打ち上げる

ようなヤツ買ってこんかい

八代 そんなもんコンビニに売ってるかあ!

香織 …おもんない、おもんないわその返し。ホンマにお笑いやっとなか自分ら

早希 とりあえずコレ体に巻き付けて火いつけたらええんとちゃう?

香織 あ、おもしろいかも

八代 無茶言うな

香織 売れてる芸人よくやってるやん

八代 カメラ回ってへんにそんなことするかあ!

香織 カメラ回ってへんにそんなことするかあ

早希 おもんないわ

八代 コイツら感じ悪いわ

早希 そういうところや!そういうところやねん!本物はな、日常生活からやねん!

峰山 なんやコイツ

早希 カメラ回つてるとかな、百万年早いねん!そんなねむたい(寝落ちする)こと言うてるからやな…ねむ

香織 たーいこと…言うてる…から…ねむたい(寝落ちする)

峰山 あ、待つて待つて待つて

峰山 寝るな!お前が買ってこい言うたんや

— 徐々に暗くなる。再び声のみ —

峰山 …おーい

八代 …おーい

香織 …(笑)もうええやん、寝かしといたり、疲れとんねん、はしやぎ過ぎたから

— 暗転のまましばらくの間…のちに再び声 —

八代 …おーい…おーい

— ゆっくり明転すると現在。早希、ソファでうたた寝していた。八代が立っている —

八代 こんなとこで寝たら風邪ひくぞ

早希 ……あ

八代 ええ夢やったん?

早希 ん?

八代 笑つとったぞ

早希 …昔ここで、みんなで花火やったやん

八代 ああ

早希 そんな時の

八代 ああ…なんかえらい昔のことみたいやわ

早希 うん

八代 …ビックリしたわ

早希 …こめんな、連絡したんやけど

八代 ああ、聞いた

早希 マネージャーさん出て、伝えといてくれる言うたんやけど

八代 うん、どうしようもないヤツやねん

早希 …もつかい連絡しようか思ったけど、忙しいんやろなて

八代 ……ごめんな、肝心な時におらんで
早希 ううん
八代 ……一年くらいで何も変わってへん思ったけど
早希 ……
八代 ……いるはずのヤツがおらへんて……変な感じやな

— 早希、荷物の中にある布団袋を持って二階に上がろうとする —

八代 運んだろか？
早希 ううん、大丈夫。ほなまた明日
八代 おう
早希 ……あ
八代 え？
早希 ……いや、しょうもない事やから
八代 何や？言うて
早希 昔の夢やつたのに。ヤッシーもう太つた
八代 なんやそれ
早希 インパクト強かつたんやな
八代 ほつとけや
早希 (笑)……おやすみ(二階へ)
八代 うん

— 二階から降りて来た峰山と交差 —

早希 寝るわ(去る)
峰山 おう……(八代に)また急に出てつてもうたんか思たで
八代 (コンビニ袋からタバコ出して投げる)宿代
峰山 (受け取つて)ええのに
八代 引越して……一人で大丈夫なんかな？
峰山 出てつた奴が何言うとな
八代 香織がおる思てたから
峰山 ……
八代 かなんな……綾香追いかけるみたいに
峰山 ……コンビニで一緒に住むて聞いた時はどういふことや思たけどな
八代 ……花火
峰山 ん？
八代 懐かしな(二階に去る)

— 暗転… —

— 明転すると翌日の昼。テーブルで古賀と河本が喋っている —

河本 それでね、早希さんが僕に言う訳ですよ「そういうとこ、直した方がええで」つて
古賀 うん
河本 でも僕にも言い分があるんですよ、だからちよつとムツとして。ペダルを漕いでたんです
古賀 うん
河本 そしたらわざと、後ろから胸をグイグイ押し付けてきて
古賀 あーらら、それはたまらないねえ

河本 「早希さん！ちよつとひつつき過ぎ」って。でも彼女クスクス笑ってるんです
古賀 完全に遊ばれてるねえ
河本 頭にきたんで無視したら、今度は脇腹をくすぐってきて、自転車漕いでるのに。う
わあ！ってバランス崩して倒しちゃって。でも彼女運動神経いいからヒラッて飛び降りて。
尻もちついてる僕をみてケタケタ笑ってるんです
古賀 なんて言うか、彼女は小悪魔的なところがあるねえ
河本 そうなんです。で、何すんだよ！って言ったら急に彼女真剣な顔になって「なあ、ホンマにあた
しでええの？」って聞いてきたんです
古賀 へえ
河本 その時ね…僕、バカで…今思い返してもなんでって思うんですけど…一瞬考えちゃった
んですよ
古賀 あー、それは…もしかしたら今後彼女以上の存在が現れるかもとか…
河本 はい、…でも、そんな訳ないんです。あんない女いませんよ。僕にはもったいない人なんで
す。…なのに、僕、…バカで
古賀 うん、まあ、不意打ちだったって事もあるし
河本 すぐに「当たり前だよ！」って言ったんですけど。でもそこには明らかにコンマ数秒の遅れが存
在していて。僕らの間に、どうしようもなく存在していて
古賀 いいフレーズだねそれ
河本 女の子ってそういうとこ鋭いじゃないですか
古賀 そうだねえ
河本 絶対傷つけちゃったと思うんですよ。あー…あの時の早希さんの顔を思い出すと…なん
で、なんであの時…くそ！
古賀 …念のため確認なんだけど、全部君の夢の中の話なんだよね？
河本 はい、そうですよ。なんで？
古賀 いや、気持ち入ってるなあって
河本 続きますか
古賀 (手で促す)
河本 で、朝になつて、起きて。僕どうしても彼女に謝りたくて
古賀 ん？その朝は夢の中の朝？
河本 違います、夢から醒めて
古賀 あー、現実世界ね
河本 それで朝ご飯も食べないで、あ、僕絶対朝ご飯食べる人なんですけど、その時だけは食べな
いで
古賀 うん、知らないけど
河本 自転車めっちゃとぼしてこまで来て、ずっと立ち漕ぎで。で、彼女に会うなり「ごめん！
早希さん！」って。そしたら彼女…(笑う)「はあ?!」って顔して(一人で大うけしてい
る)
古賀 まーそうだろうね
河本 あの時の彼女の顔つたら(ひとしきり笑って落ち着いて)…まあそれが、現在に至るまでの
僕と早希さんの経緯ですね
古賀 …ん?…うん、でも今聞いたのは、ほとんど君の夢の話だよ。君と早希ちゃんというか
君の中だけの
河本 あ、やっぱり伝わんないかなー
古賀 え？
河本 ま、しようがないんですよ。それは僕と彼女の間の事だから。他の人にはわかんないかな
古賀 そうなの？

河本 あ、そうだ。この話をしないと
古賀 ん？
河本 二人で井之頭公園にボート乗りに行つたことがあつて……
古賀 えーと、それは現実世界で？
河本 違います、夢の中で
古賀 ああ、また夢の話

―― 沢野、藤堂を連れて外から帰つて来る。藤堂は右手の拳に包帯を巻いている ――

沢野 なんや、また来とんかい？
河本 いいじゃないですか。あ、昨日の
藤堂 どうも
沢野 八代呼んだつてくれ
河本 まだなんか寝てるみたいですよ
沢野 は？いつまで寝とんねん
河本 ほら、二人で深夜まで積もる話もあつたんじゃないですか？
沢野 ああ。たつき起こしてくるわ
藤堂 そんな、ゆつくり寝かせてあげて下さい
河本 (藤堂を見て)なんか泥だらけじゃないです？
沢野 この人、その河原で犬と戯れてはつてん。ほら、加藤さんとこのバス
河本 バス？あの熊みたいな犬と？立ち上がったら2メートルくらいあるでしょ
古賀 それは大きいねえ
沢野 襲われとんか思たわ
藤堂 いやー、犬が好きで。私も飼つてて……そうだ、うちの犬の写真見ます？
沢野 (スルーして古賀にあ、昨日くれたコレな、めっちゃええわ
古賀 あ、ホントに。よかつた
沢野 さすが特殊な磁石を使つてるだけあるわ。ま、8万は払わんけど
古賀 いや、それは。いつもお世話になつてるから
沢野 おおきにな。(藤堂にあー、やっぱり起こしてくるわ、ちょっと待つといて二階に行く)
藤堂 あ、ホントにいいですよ。
河本 昨日お帰りになった後、入れ違いみたいに帰つて来たんですよ
藤堂 正しいですね。いやー、よかつたです。
河本 あの、手どうかしたんですか？
藤堂 あ、これは別に。何でもありません。あ、ちよつとお手洗いお借りしても？
河本 廊下の突当り右です
藤堂 失礼します(上手奥に)
古賀 何です？特殊な磁石つて？
河本 あー、昨日沢野さん腰痛めちやつてね。ちよつど返品された商品持つたからね、コルセツ
ト。あげたの
河本 あー
古賀 通常は8万円ですつてるやつだからね。いいんだ
河本 でも返品された商品なんですよ？
古賀 いや、商品に問題があつたわけじゃなくてね。それを購入してくれたおじいちゃんがね、す
ぐ翌日に亡くなつたんだ
河本 え？！
古賀 いつもは、いの一番に来てるはずの佐竹さんが……あ、そのおじいちゃん佐竹さんつて言うん

だけど、佐竹さんがいない、おかしいって梅沢さんがね……あ、梅沢さんってのは佐竹さんと恋仲っていうか、二人はまあそういう関係だったんだけど、おかしいって言うもんだから家に行ってみたらね、案の定。もう死後3時間くらい経ってたのかな

……えー

眠るようにね。いやー、でもビックリしたねえ

え？じゃあ

古賀 うん、でね、もつたいないじゃない。だからご遺体からって言ったらアレだけど、そつとね、外させてもらってね

河本 え？ーお亡くなりになった時に付けてたヤツをですか

古賀 もうすっかり体も固くなっちゃってて

河本 えー……

古賀 いやーなにしろ8万円だからね。ほとんど新品同様だから

河本 いや、そうだとっても

古賀 商品に罪はないからね

河本 いや、罪とかそういう……

古賀 あ、沢野さんにはコレ(内緒)ね。人によつてはね、そういうの気にする人いるから

河本 いや、あの人あー見えて、そういうのめっちゃ気にしますよ

古賀 佐竹さんもね、使ってもらつて喜んでると思うんだあ。モノを大切にする人だったから

河本 はあ

古賀 あ、じゃあ僕そろそろ行くね。いやー僕が行かないとね、始まらないから

——古賀は仕事に行く。沢野、戻つて来る。河本、なんとなく沢野の腰のあたりから目が離せない——

沢野 あかん、全然起きへん、あれ？あの人は？

河本 あ、トイレ行きました

沢野 古賀さんは？仕事行つた？

河本 はい、まあ

沢野 (河本が腰を凝視してるので)なんや？

河本 いや、どうですか腰

沢野 いや、このコルセットホンマにええねん。もう手放されへんか

河本 そうですか

沢野 怪しい商売してる気持ちの悪いオッサンや思ってたけど、ええところあるで

河本 そうですな(腰に拝む)

沢野 ……？

——藤堂トイレから帰つて来る——

沢野 あ、ごめんな。やつぱり起きやらん

藤堂 あ、大丈夫ですよ。……えーと、ここ待たせてもらつたら、迷惑ですよね？

沢野 かまへんで。まー座りーや

藤堂 あ、じゃあ失礼して

河本 あ、そう言えばさつき犬の写メ見せようとしてたのにスルーしてましたよ

沢野 あ？犬？

藤堂 いや、別に

河本 見せたかったんでしょ？

藤堂 いやー、そういう訳じゃ……あ、じゃあ見ます？
河本 じゃあつて(笑)
藤堂 (スマホ見せながら)ほら、これとか。かわいいでしょー
河本 あ、ホントだ
沢野 ふーん、でも犬って臭いやん
河本 あんたが言うな
藤堂 もうね、たまんないんですよ
河本 へー、三匹も飼ってんですね
藤堂 ええ。ていうか、三匹になっちゃったんですよ
河本 え？
藤堂 ついこないだね……あ、ごめんなさい(泣く)天に……召されてね
河本 そんな話ばかりか
沢野 あ？
河本 あ、いえ
藤堂 最後の最後までね、尻尾振ってね……お前も面白い、そんな無駄な力使うなって言ってるのに、呼吸すんのもやっとなのに……(泣)一生懸命尻尾振って……
沢野・河本 ……
藤堂 ……あ、ごめんなさい
河本 ペットじゃなくて、家族ですもんね
沢野 まー、そんな犬好きやったら咬まれても痛ないわな
藤堂 え？まさか。咬んだりしませんよ
沢野 いや、あんたんとこの犬やのうて、その手、さつきベスとじゃれおーた時に咬まれたんちゃうの？
河本 あ、そうか、ベスの甘噛み半端ないですもんね
藤堂 あ、これは違うんです。これは、さつき電車で
河本 え？！ドアに挟んだとか
藤堂 (笑)違います違います。いやー、聞いて下さいよ。ひどい話ですよ
沢野 おう、なんや？
藤堂 さつき電車に乗ってたらね、突然女子高生の女の子が私の腕を持って「この人、痴漢ですー！」
河本 え？！
藤堂 びっくりして。だつて触ってませんから。車内がらつがらすよ。「違います」って言ったんだけど、聞く耳持たないんですよ。次の駅で降ろされちゃつて
河本 最悪やな
藤堂 で？で？
河本 いや、どうしようかなくて思つて
藤堂 駅員室行っちゃつたら終わりですからね
河本 そしたら見るからにヤンキー風な男の子が現れて、触ったんなら慰謝料払えつて
河本 うわ
沢野 グルや
藤堂 ええ、私も「あー、そういうことね
つて」瞬間で理解して
河本 え？！じゃ、その高校生にやられたんですか
藤堂 そうなんですよ、
河本 ええ、ひどいじゃないですか
沢野 最悪や

藤堂 ホントですよ、歯が当たっちゃってね、そいつの

河本 え？歯が？

藤堂 いつもはね、そんなへましないんですけど、ソイツひどく暴れるもんだから

河本 …はあ

藤堂 腹立ったから、あとは靴の踵だね。顔面を集中的に。前歯根こそぎ折ってやりましたよ

(笑)

河本 …へえ

藤堂 あ、女の子は殴りませんよ、さすがにね。でも邪魔しようとするから、髪の毛ひつつかんで

ブンつてやったら、女の子軽いでしょ。ホームから線路に落ちちゃって(笑)

河本 え？！

藤堂 いやー、よかつたですよ電車来てなくて。もしね、轢かれてもしたら、こっちがパクられちゃ

いますよね、私何も悪くないのに。急いで逃げましたよ(笑)

沢野・河本 …

河本 …あの、その落ちた女の子は？

藤堂 は？…さあ、電車来なかつたし、死んではないでしょ。だから私その場立ち去りましたし

やだな、話聞いてますか？

河本 あ、すいません

藤堂 あ、そんな事より、ツイッターもやってるんです。うちの犬の動画をね、載せてるんですけ

ど、ほら、これとか…かわいいでしょー、やっぱり犬はいいなあー

— 怖いことを楽しそうに話す藤堂のイメージのギャップに戸惑う沢野と河本。八代が二階から降りてくる。藤堂の姿を見て驚く —

八代 え？！なんで

藤堂 あ、八代さん、いやー、よかつたー、やっと会えた

八代 あの、なんでここに…え？

藤堂 なんてって。ひどいなー、どれだけ探したと思ってるんですか？

八代 あの、せやから

藤堂 だつて急に連絡取れなくなっちゃったから、家に行ってもいないし、そりや、逃げたつて思い

ますよね。貸した方としちゃ

八代 いや、あの、ちょっと(端に引張つて連れて行くこと)

藤堂 あ、いたいたい(右手をかばつて)

八代 あ、すいません！…待つてもらえるつて話でしたよね

藤堂 あー、それがね、ちよつと状況変わったみたいで

八代 え、何ですか？聞いてないですよ

藤堂 …だからお伝えしたくても、連絡取れなかつたから

八代 すんません、今すごいバタバタで。でもなんとかしますんで

藤堂 そりやそうですよ。明日までにね、これ(指五本)。頂けないとね、ちよつと困ります

八代 え？！(指五本)！

藤堂 だつてトイチだから

八代 明日？！

藤堂 そうみたいですよ

八代 え、そんな急に言われても

藤堂 私に言われてもね、私ほら、回収するだけですから。でも明日中に頂ければ何の問題もな

いんで

八代 …明日…わかりました

藤堂 いやー、よかった。あ、そうだ。これどうぞ(昨日も渡していたお菓子を出して)

八代 ……え？…これ、うちの地元の

藤堂 いやー、いいところですね、空気が澄んでね

八代 行ったんですか？

藤堂 ご両親も親切だね。わざわざ農作業の手を止めて

八代 親に会うたんですか？

藤堂 私はね、いいって言っただんですけど、上がってくれて。いやー、私断れない性分だから

八代 あの…お金のこと

藤堂 言いませんよ、そんな、ねえ、心配させるようなこと

八代 ……

藤堂 いやー、お気の毒だと思います。(河本と沢野に)手を出しちゃった女がね、悪かったんです

河本 はあ

八代 ちよつと

藤堂 この方はね、悪くないんです。女がね、勝手に身分証持ち出して

八代 あの

藤堂 あの女あちこちにこさえてるから、もううちみたいなどこしか

八代 もうええですから！

河本 (好奇心に駆られて)あの、こちらで話を伺いましょう

八代 ひっこんどれっ！

藤堂 八代さんの仕事柄訴えるのもね、なかなか覚悟がいりますし。ちやちやつと返せるなら越

八代 したくないですよ

八代 明日！！必ず！！

藤堂 助かります。じゃ、明日。あ、もろもろの交通費と、あとお土産代(八代のポケットから財

布を抜き取り)ちよつと足りないなー。ま、いいです(財布返す)

— 峰山と早希が外から戻って来る —

早希 (藤堂見て)あ、昨日の

藤堂 あ、どうも。会えました

早希 よかったです

藤堂 じゃ、私は(沢野達にも)お邪魔しました。あ、ツイッター、良かったらフォローしてください

(丁寧にお辞儀して去る)

峰山 結局誰なん？

早希 フアンの人やろ？なあ

— 八代、具合悪そうにどこかにもたれかかる —

早希 ん？どしたん？

河本 早希さん！早希さん！

早希 ん？

沢野 フアンやなかった

早希 え？そうなん？だつて「追っかけ」って…

沢野 追っかけは追っかけやけど

河本 別の追っかけでした

早希 は？

河本 まあ、なんていうか…

沢野 こいつ借金しとんねん
八代 せやから俺がしたんやのうて
早希 え？ほな今の
河本 取立人
早希 へー
沢野 しかもあれ聞やろ？
早希 聞？
河本 闇金だよ！闇金！いやー初めて見たー(笑)
八代 お前嬉しそやな
沢野 (八代に)そういうとこホンマ直した方がええで
早希 そういつのつてもつと…あんな温厚そや人が
河本 それがそうでも
早希 え？
沢野 なんかなりやばい感じやったな
峰山 いくらなん？
八代 ……
河本 (指五本出して)50万！！
沢野 アホ！そんなん取立てくるかあ！5000万や、なあ
八代 (首振る)
沢野 5…5億か！！
八代 500万
峰山 アホやなー。なんで？
八代 付き合ってた女が…勝手に免許持ち出して
峰山 よーある話や
沢野 そんなもんお前払う必要あれへんがな
河本 そうそう。逆に一部でも払うと認めちやうことになるから
峰山 払ったん？
八代 とにかく問題を大きしたなくて
早希 アホやなー
八代 せやかて、ピョンが！ピョンが不倫なんかするから
早希 ピョン関係あらへんやん
河本 あ、もしかしてその付き合ってた女が人妻だったとか？
八代 ……
河本 当たったみたい
早希 そうなん？
八代 騙された
峰山 アホやなー
八代 ただでさえピョンの余波で仕事激減してんのに、俺までそんなん公になったら
沢野 面白がられて散々ネタにされて、世間から総スカン食らって、もう浮上することはないや
早希 ……アホやなー
八代 さっきから交互にアホアホ言うのやめてくれ
早希 出したろか
八代 え？
早希 500万
八代 ……

早希 …いや、ジヨークやけど
八代 …うわ全然おもんない
早希 ひえー
峰山 返せるん？
八代 …は？誰や思つてんねん。これでも芸能人やぞ
全員 おお
八代 今月まとまったギャラが入ったんよ。ちよつと今…色々あつて手元にはないけど、明日まで
峰山 に振り込ませるわ
マシか？
八代 仮に倍の一千万になったところで…まー車売ったら作れんことはない
早希 車？
沢野 お前車なんか持つとんか？
河本 くそ、生意気な！車種は？！
八代 シーマ・ハイブリッド
沢野 セダン！！
河本 なにー！！
八代 パワートレインには最高出力364PSを發揮する、3.5LのV型6気筒エンジンを搭載
全員 おお…！！
早希 (沢野に)つまりどういうこと？
沢野 わからん。でも、凄い
河本 成り上がりめえ！
峰山 大丈夫なんか、そんなもん買うて
八代 スアイトスつて大事やねん
沢野 まー、売れてた時はGMも出つたしな。500くらい何でもないやろ
早希 腐つても鯛いうこと？
八代 腐つてへん！まーとにかく、全然余裕やから
河本 つまらな
八代 えーつと、ごめん、ちよつと部屋借りるで(二階に行こうと)
峰山 おう(ピツタリついて行く)
八代 …悪いけど集中したいから一人にしてくれる？
早希 誰の部屋や思てんねん
峰山 (早希を制し)ええねん、台本でも覚えるんけ？
八代 まーそんなとこや
峰山 好きに使い
八代 相手！！(ギョツと抱きしめてから、二階に)
早希 勝手やわー
河本 まーそういうヤツだよ
早希 勝手にコンビ解散して、出てつて、勝手に戻って来て、(峰山に)文句の一つも言うたつたらえ
峰山 えんとちやうの？
早希 …
峰山 …
早希 …今、ギョツてしてくれた
峰山 (沢野達に)いじらしーわー
早希 完全に都合のええ女化しとんな
沢野 (沢野達に)ツイッターも名前隠してずつとフォローしとんやろ？
早希 ちよつと雑誌に記事出たらスクラップにして保存しとるしな
沢野

早希 親か！

峰山 ……相方って言うてくれた

早希 (峰山に) 良かったね。(沢野達に) 見てられへんわ

沢野 まー本人それで満足やねんから

早希 せやけど相変わらず自己中やな

河本 そんなもんだよ、シーマ乗り回してるヤツなんて

峰山 あいつの悪口はやめてくれ

早希 せやけど

峰山 もともとアイツはお笑いなんてやりたなかつてん。俺が無理矢理誘ったんやし

早希 そうなん？

河本 因みにネタ考えてたのつて？

峰山 俺

河本 意外！！

峰山 そう？

河本 だつてあんた、面白さの欠片もないから

早希 ……こいつムカつくな

今更？

河本 (沢野に) どんな漫才やつてたんですか？

沢野 このまんまや

河本 このまんま？

沢野 こいつが八代のこと好きで、あの手この手でくどくどこうとするのを、あいつがひたすら拒否するつていう

早希 なんですかそれ

河本 なかなか斬新やつたで

早希 一回めっっちゃ受けたから、これはイケる思てそのネタやり続けたんやけど、書いてるうちに段々ガチになっていつて、俺の中でアイツへの想いが止まらんようになってもうたんや

早希 ほら、漫才のネタ書くのつて、相手への恋文みたいなもんやん

河本 いや、知らないけど。そうなの？

沢野 こいつの場合ガチで恋文やからな

峰山 八代が俺を拒否することでツツコミとして成立してたんやけど、段々俺を受け入れる台本に変わつていったんやな…

河本 変わつていったんやなつて、あんたが書いてんでしょ

早希 しやーないわ

峰山 そのうち俺ら、ネタの事で揉めるようになって

河本 そりやそうだろ

峰山 気付いたら相手も客も離れていった

早希 切ないな

峰山 せやからアイツがここを出て行つたんは、俺のせいでもあるねん

河本 売れようつて気はなかつたんだ

峰山 俺はアイツと一緒にいるだけで楽しかったし、逆にアイツは売ればお笑いやのうても何でも良かったし

沢野 そう言うたら、アイツ俳優に転身しようとしたもんな

早希 一時期韓国でも話題になったんやろ？日本のピョン・ドンゴンとかいうて

峰山 映画の話も来てたらしー

河本 マジか？！

峰山 ピョンが事件起こして流れたけど

河本 よかつた
沢野 (河本に)お前見てると何か衰しなつてくるわ
でもまー、世に出るきつかけなんて何でもええ訳やし、あとは本人の実力でなんとかなる
から。八代は類まれなオーラと才能あるから
沢野 ある思うか？
早希 絶対ない思う
沢野 オーラときたで
河本 人を好きになるつてすごいな
早希 ここまで目を曇らせるつて

― 八代、二階から戻つてくる。―

八代 ありがとう
峰山 おう、もう行くんけ？
八代 うん
早希 慌ただしいな―
八代 …お前それ、ピアス？
峰山 あー、うん。
八代 えー、やめとけや体に穴開けるとか
峰山 お笑いもやめたしええかなーつて
八代 そういうの好かん
峰山 …今更彼氏面すんなよ
八代 してないわ！！あと今更つてなんや！
峰山 でもお前が嫌やねんたら(ピアスを取ろうと)
八代 あーいい、いい、どんどん空けてくれ、もうどつかの部族くらいやつてくれ。ほんで吉田なぎ
とかに写真撮られてくれ
早希 なんや！そんな言い方ないやろ！啓ちゃんの気持ちも知らんと
八代 え？なに？
早希 一回くらい抱いたれや
八代 なんやそれ、ここで何の話しとつたんや
峰山 早希、ええから。なんべんも言うけどそういうんちやうから
早希 せやけど吉田なぎとか、よくわからんこと言うし
八代 それはええやろ！
峰山 ええねんて。せやけど、八代が俺を抱きたい言うんやったら、俺に抗う術はない
八代 抱くかあ！なんや抗う術つて
沢野 こういふネタや
河本 なるほどね
八代 あ、もうこんなことしてる場合ちゃうねん。ほな、行つてくるわ
峰山 今日は何の仕事やねん
八代 守秘義務あるから言われへん
早希 夜には帰つてくるん？
八代 多分。あ、もう今日引越してまうんか
早希 こつちにはいつまでいるん？
八代 明日かな
早希 ほなあたしも明日までおろーかな
沢野 明日くらいやつたら、ワシの腰もええ感じになつてる思うで

早希 ええわ、おっちゃん、ヤッシー仕事全部終わったら手伝って、引越し
八代 おお。ほな

— 八代出て行く —

河本 やっぱり僕も手伝うよ
早希 え？

河本 新しい住所も知りたいし

早希 ……あれ？おったんか？

河本 ……ずっと！！

早希 全然気付かんかった

河本 結構受け答えしたよ

早希 ごめんな、ほら、あたし記憶が

河本 いやいやいや

早希 何しに来とんねん？バイトは？

河本 やつてらんないよ、いなくなっちゃうって思うと

早希 無責任やな。ほな(二階に)あ、こっから先入って来ようとしたら射殺してください

沢野 わかった

河本 えー

峰山 まー、一緒におりたいいう気持ちは分かるけど

沢野 帰れ、発砲許可も出とるし

河本 そんな言い方あります？早希さんに僕を紹介したの沢野さんですからね

峰山 え？そうなん？

沢野 アホか！お前を紹介したんやない。お前にバイト先を紹介してくれて頼んだだけや

河本 でもその結果二人は出会ってしまったわけだから

沢野 運命的みたいな言い方すんな

河本 心配だったんです。辞める理由も教えてくれなかったし、以前みたいなこともあったし

沢野 あ？

河本 香織さん亡くなった時、一か月くらい来なくなつて

沢野 ……ああ

峰山 部屋に閉じこもつて出て来んよーなつたからな

沢野 まー、しゃーないやろ。早希をあそこまで回復させたんは香織やったし

河本 ホントの姉妹みたいでしたもんね

沢野 お前好かれとつたな

河本 香織さんに？そうなんですか、言うほど面識ないんですけど

峰山 おもろい生物見つけたいうて、はしゃいでたわ

河本 あの人なにかとツツコミ入れてきたんですよね。全然ボケてないのに

峰山 お前ずーっとボケてるがな

河本 ちよつと、何ですか

峰山 なんてやろな

河本 今回の引越したつて、香織さんのこと関係ないわけじゃないんですよ

沢野 そら知らんがな

河本 思い出しちゃうのが辛いんじゃないですか

沢野 ……

河本 ……寂しいですよ

沢野 うるさいわ！

河本 え？
人間最後はみんな同じや
沢野 身もふたもないな
峰山 ……
河本 あ、そう言えば一度香織さん本屋で見かけたことがあつて
峰山 本屋？
河本 声掛けようとしたら、泣いてた事あつたんですよね
峰山 なんて急にそんな話
河本 全然そんなイメージなかつたから、印象残つてて
沢野 ……そら、色んな顔があるやろ
河本 なんかも声掛けづらくて、…まー掛けたんですけど
沢野 掛けたんかい。そつとしいたれや
河本 僕泣いてる女の人つてほつとけないんですよね
峰山 知らんがな
河本 そしたら本読んでたら泣いちゃつたとか言つて
沢野 ……
河本 かわいいとこあるんだなつて思つて。一瞬グラツときちやつたんですけど。でもほら、僕には
沢野 早希さんがいるから
河本 ほら言われてもな
峰山 ギヤップですよね。ギヤップ。ハートを掴むにはねギヤップつて大事ですよ
どつから目線で言う тоннねん

— 暗転。明転するとその日の夜、早希がやつて来て荷物の中から本を取り出して、パラパラとめくっている。と、香織が現れて —

香織 なかなか引つ越し進まんな
早希 うん、ヤッシーも帰つてきたし、せつかくやから
香織 借金しとんやて？
早希 なんかも女に騙されたみたい
香織 らしいわー
早希 そのくせ車乗つとる。
香織 しゃーないやつちやな、何乗つとん？
早希 えーと、シーマ？セダン？
香織 よーわからん
早希 あたしも
香織 調子乗つとんのは間違いないな
早希 うん、でも相変わらずでなんかホツとした
香織 上昇志向の塊みたいなのこあつたもんな
早希 啓ちゃんを足して2を割つたらええねん
香織 ホンマやな。え、でも、それは同じ人間が二人出来るいうことやろ
早希 そうやな
香織 あいつら足して割つた生きもんが二体おつたら…気持ち悪いやろ
早希 ホンマやな(笑)…昨日久しぶりにネエさん夢に出てきたわ
香織 お、久々の出演かい。何役や
早希 何役で、本人の役やけど
香織 なんやつまらん、何の夢？

早希 昔よくここで花火したやん。そんなときの
 香織 ああ、あんた花火好きやったなー
 早希 そんな前の事やないのに、えらい懐かしいわ
 香織 よーみんなで遊んだな
 早希 うん
 香織 温泉旅行行ったこともあった
 早希 あれ、なんでやったっけ
 香織 おつちゃんの腰痛治すのに付き合おうて
 早希 あーせやった
 香織 シーズンオフに行つたから空いとつたな
 早希 露天が貸切状態やった
 香織 あんたえらいはしゃいどつたな
 早希 めっちゃ広かったし
 香織 調子のとて溺れて死にかけて
 早希 せやつたっけ？
 香織 酒入つてたしな
 早希 酒盛り！
 香織 あんた酒弱いからすぐ寝てまうねん
 早希 あれが気持ちええねんなー
 香織 そういやあんたあたしが死んで、しばらくまともに寝えんかったな
 早希 5日間くらい
 香織 なんて
 早希 寝たら起きなあかんし
 香織 どういうこつちゃ？
 早希 夢見てまうから
 香織 なんか怖い夢か？
 早希 ネエさんがホンマは生きてたゆう夢
 香織 ええ夢やないか！
 早希 ええ夢やからイヤやねん。目え覚めた時、しんどい
 香織 そうかあ
 早希 ・：ずーつと覚めへんかったらええのに
 香織 それはそれでしんどいやろ
 早希 ・：
 香織 そんな眠たいこと言うてへんと、現実世界をもっと充実させたらええねや
 早希 充実？
 香織 男でもこさえてやな
 早希 そういのはあんまり
 香織 アレは？アレでええがな。なんか変なん言いよつてきてるがな
 早希 変なんて分かつて進めるその心境はどないなん
 香織 ええ奴やん。アホやけど。大丈夫や、慣れるて
 早希 ネエさんアホと付き合える？
 香織 いや、あたしはアホは嫌いやから
 早希 無茶苦茶やな

— 香織、早希が持ってた絵本を手を取って —

早希 ……ネエさんも私がしんどい時、そばにおってくれた
峰山 香織にとつても、そうやった思う
早希 ……それはどうやら

— ……暗転。

明転したら翌日。沢野、河本、古賀の三人がテーブル周りで話をしている —

沢野 もう押ししても引いても動かへん。どっかひつかかりよる

河本 電動アシストつてかさばりますからね

沢野 そしたら女の人が隣のチャリをグツつてどかしてくれはって「大丈夫ですか」つて。俺キョンつてしてもうて

河本 またですか。しよつちゆう恋するんですよ

古賀 うーん、いいねえ

河本 きれいな人だったんですか

沢野 おう、マスクしとったけど

河本 じゃあわかんないでしょ

沢野 目え見たら分かるやんけ、笑顔キラーンや

河本 歯が見えないのにキラーンて

古賀 目がキラーンなんでしょ

沢野 若いお母さんやった、電動自転車の荷台にチャリ乗つけてはった

河本 ジャリつて。子どもつて言いなさいよ、ガラ悪いな

沢野 キョーンなつてもうて

河本 もうこないにかわいいキョンがあるんか言うくらいキョーンつて。生まれたての子犬くらい

沢野 キョーンて

河本 しつこいな

古賀 純情だねえ

河本 だいたい簡単すぎるんですよ。ついでないままでは電動ママチャリの運転が粗いつて切れてた

古賀 くせに

河本 あー、あれスピード出るからねえ、気を付けないとね

河本 事故も多いらしいですよ

沢野 あのな、ママ達は大変やねん。子どものお迎え、買い物、帰ったら夕飯の支度や。とばさんと間に合わへん

河本 ひかれそうになつて、しばいたろかって言つてたくせに

沢野 そういうたらアイツも綾香乗せてびゅんびゅんとばしとったわ

河本 アイツ？

沢野 香織や

河本 あー、え？香織さんつて子供さんいたんですか

沢野 あれ？お前知らんかったつけ？

河本 はい。え？でも一人で住んでましたよね

沢野 ……

古賀 香織さんつて、僕がここに来る前にいらつしやつた…？

河本 はい、え、じゃあその子どもさん…

沢野 ああ、ええねんそんなことは。とにかくやな、久々に恋の予感がしたわけや

河本 思いつきり人妻じゃないですか

沢野 チャリを追走しそうになつたのを必死で堪えた

河本 犯罪ギリギリだ
沢野 うるさいな、お前に言われたないんじや
河本 少なくとも人妻には手は出しませんよ
古賀 いいねえ、セミナーに来るお年寄りもねえ、伴侶亡くしてる人達なんかは、特におさかんで
ねえ、そういうのいいんだあ
沢野 待てえ、年寄りと一緒にせんどいてくれ
古賀 佐竹さんと梅沢さんもねえ、ラブラブだったんだけど、あんなことになってねえ
沢野 誰やそれ
河本 あんたが腰に巻いてるヤツの持ち主だよ
沢野 あ？
古賀 河本くん、河本くん
河本 あ、そうか。いたわられたんだ
沢野 いたわられた？誰が？
河本 沢野さんが
沢野 なんで？
河本 老人だから
沢野 何言うとんねん。俺60前やぞ
河本 相手何歳くらいでした
沢野 20代・・・後半くらい
河本 そんな人から見たら老人ですつて
沢野 アホ言うな、こんな身軽にステップ踏める老人おるか。席も譲られたことないつちゅうねん
河本 ぼちぼち来ますよ。その最初の兆候
古賀 初めて席譲られた時つて、意味わからないらしいからねえ
河本 おじいちゃリ出すのに苦労してるから、助けただけですよ
沢野 ……
河本 介護です
沢野 ……
河本 ……
河本 極端だな

— 峰山が二階から降りてくる —

峰山 なに怒つとん？
河本 老人の逆恨みですよ
沢野 老人ちやうつちゅーねん
古賀 街で優しくしてくれた女性に恋してね
峰山 またか
沢野 八代は
峰山 なんか朝早くに出て行った
沢野 なんや結構忙しいんやんけ
河本 最後のあがきですよ
沢野 なんでそんなに嫌いなん？
河本 昔から僕を見る目がね、気に入らない
沢野 どんな？
河本 なんていうか、道端の石ころを見るような目で見てる
沢野 考え過ぎやろ
峰山 違う思う

沢野 ほら見てみい
峰山 道端の酔っ払いのゲロを見るような目で見てる
河本 ゲロ！
峰山 吐きたてのヤツ、ホカホカの
河本 許せない、そうゆうヤツなんですよ
沢野 そんな目で見られるお前はどいうヤツやねん
河本 そんなのわかりませんよ！！
沢野 きれどころおかしい？
河本 自分がわからなくて、19の時自分探しの旅に出かけて、もう随分になります
古賀 まだ旅の途中なんだあ
峰山 お笑い向いてんちやう？
河本 は？
峰山 香織が言うてたけど、俺らよりよっぽどおもしろいて
河本 いや、無理ですよ。リス・ペクトはしてますけど、ベクトルが違うつていうか、ま、フレミングの
古賀 法則じゃないですけど
峰山 ……彼は時々よくわからないことを言うね
古賀 ガチですよ。本物には勝てませんわ
峰山 香織さんでどいう人だったの
古賀 え？
古賀 僕、彼女亡くなつてからここに来たから
峰山 あー
河本 いかにも関西人つて感じの人でしたね。
沢野 美容師やつつてな
古賀 へえ
沢野 ここに住んでた奴らはみんなアイツがカットしてくれたんやけど、しつかり値段とりよんね
峰山 ん
沢野 むしろぼつたくつてた
峰山 俺忘れられへんのサプライズバースデイやな
沢野 あー、そいうの好きやつた
古賀 イベント好きなんだ
沢野 俺の誕生日のすぐ前にコイツ(峰山)の誕生日あつて、サプライズやるねん。で、すぐ後に俺
古賀 や
古賀 じゃあばれちやうねえ
沢野 朝からみんなコソコソやつとんねん。俺が来るとぱーつていなくなる
河本 あー
沢野 そんな予兆みたいなんが何回かあつて、夜ここでみんなだべつてたら、いきなり電気消え
河本 るねん
沢野 来ましたね、ベタだけど
河本 来たな！と思うやろ？でも「あ、ごめんスイッチ切つてもうた
つこそこはスルーされる
河本 じらしますね
沢野 内心「何や、まだかい？」と
古賀 うん
沢野 そしたらみんな「ほな寝るからー」言うて、俺一人残して一斉に部屋に戻る訳や。まだそ
河本 んな時間やないのに
河本 来ましたね

沢野 ほんで俺が自分の部屋に戻ったところで、隠れてたみんなが一斉にわーっと……来るか思っ
たらこうへん

河本 あれ？

沢野 結局何にも起こらへん

河本 何ですそれ？

沢野 で、数日経ってからここに手紙が置いてあつて、中見たら「先日はおめでとございまして」
て。

河本 え？

沢野 サプライズがあると思つてたら、ないつていう形のサプライズやった旨が書かれてんね
ん。……ビックリした！

峰山 サプライズ成功

沢野 あとで聞いたら、コイツ(峰山)のサプライズすら、俺を陥れるための前振りやつてん

古賀 手が込んでるねえ

沢野 香織はそういう計画を練つて、こいつらを束ねとる、そういうヤツやった

峰山 野盗の首領みたいな言い方や

河本 ひとつ間違えればイジメじゃないですか

沢野 ひとつちやう、全部間違つとるわ。ま、長い付き合いやしな。なんとも思わへん

斉藤 面白い人だつたんだねえ、会いたかつたなあ

河本 でも子どもさんいたなんて知りませんでした

沢野 それはもうええつちゆうねん

河本 えーつと綾香ちゃん、ですか？その子は……

峰山 亡くなつたんや。もう5年近くなる

河本 え？！そんなんですか

古賀 病気か何かで？

沢野 ……事故や。赤信号で飛び出してな

河本 あー……子どもだからしょうがないつていうか

峰山 アホ言うな、綾香はちゃんと信号守る子やつた

河本 え？でも今

沢野 前に立つてた……大人がな、信号無視して渡つたんや。それにつられてな

古賀 え、そんな……

古賀 じゃあその人と一緒に

沢野 いや、重症やつたけどそいつの方は命取り留めてな

古賀 そう

河本 ……なんていうか、やりきれませんね。そいつが死んだらよかつたのに

――峰山、河本の頭を強くはたく。そのタイミングで早希が二階から降りてきていた――

河本 (思い切り叩かれた事に)え？

沢野 (早希に気付いて)あ

峰山 ……！

早希 ……え？なに？けんか？

峰山 ツツコミの練習

沢野 ボケよつたから

河本 えー！

沢野 (河本に)ボケたついでに、お前タバコ買って来い

河本 ボケてないし、よくわからないし

早希 あ、ええで、あたし行ってくる
河本 あ、いいよ早希さん
早希 ついであるし
河本 じゃ、僕も一緒に
早希 いらん。そいつをあたしに近づけんといて
沢野 発砲してええか
早希 やむを得なければ
河本 面白いなー、もうー
古賀 あ、僕もそろそろ行かないと
早希 ほな、一緒に
河本 えー

――早希と古賀出て行く――

河本 へえ、でもそんなことあったんですね……あ
沢野 何や？
河本 いや、それでかなあつて
沢野 何が？
河本 いや、早希さんとデートとかしてるよね
峰山 デートちゃうやろ
沢野 お前がつきまとってるだけや
河本 違いますよ、ま、いいですけど。あの人どんなに急いでも信号だけは守るんですよ
峰山 ……
河本 どう見たつて車来ないでしよつとところでも、足に根が生えたみたいに動かないんですよ
沢野 それ、その子のことがあるからなんですかね
早希 ……そうかもな
河本 あ、でも早希さんはその子のごことは知らないのか？五年前つてことは、その後ですよ、
沢野 早希さん来たの
沢野 ……ああ

――八代が急ぎ足で帰って来る。――

峰山 おう仕事終わったんけ
八代 ……おう

――そのまま二階に――

沢野 元氣あれへんな
河本 感じ悪いだけですよ。シーマなんか乗りやがって
沢野 お前そればかりやな
峰山 自分も買うたらええやんけ
河本 免許持つてないですもん
沢野 取つたらええやんけ
河本 筆記試験がね。どうしてもパス出来ない
峰山 お前思てる以上にアホやな
河本 ひっかけ問題がね

― 八代荷物を持ってすぐ降りてくる ―

八代 ごめん、すぐ東京帰らなあかんくなった。急な仕事入ってん

沢野 なんかバタバタやな

八代 すんませんお邪魔しました

沢野 おう、またいつでも来いや

八代 ほなな

峰山 早希すぐ戻ってくるで

八代 あー、でもええわ。よろしう言ううといて

峰山 金策は失敗したんけ？

八代 ……え？

峰山 昨日も今日もホンマは仕事とちやうかつてんやろ

河本 え？なに？そうなの

沢野 どういうこつちや

八代 ……なんや、バレとつたんか

峰山 当たり前や。俺もう相方やないけど、お前のファンやぞ。お前の仕事のスケジュール

河本 くらい全部把握してるつちゆうねん

峰山 そうなんだ。ちよつと怖いな

河本 まさか逃げ回るつもりちやうやろな

八代 ちやうわ。せやけど、…迷惑かけたらあかん思て

峰山 ウソつけ、カッ悪いとこ見せたないだけやろ

沢野 なんや、結局金困つとんかい？

峰山 ギヤラが入るとかウソやつたんか、見栄張つて

八代 ウソちやうわ。せやけど、手違いがあつて

峰山 手違い？

八代 ……マネージャーがそれ持つて、くらました

沢野 持ち逃げかい？

河本 うわあー

八代 こつちにいるらしいつて聞いて、それで

峰山 どやつた？

八代 あかんかった

峰山 見つからへんかったんけ

八代 見つかったけど……なんか子どもが病氣らしいわ

峰山 病氣？

八代 今どうしてもまとまった金があるつて

峰山 ……そんなんウソかもわからんやん

八代 うん、せやねん

峰山 せやねんて

八代 でも絶対返すて、鼻水垂らして泣きよんねん

峰山 そんなんウソ泣きかもわからんやん

八代 せやねん

峰山 せやねんて

八代 せやねんけど、あかんねん俺……そういうの、めんどくさいねん。もうええわ、俺が

稼いだらええだけの話やん、て思つてまうねん

峰山 ……お前らしーわ

八代 子ども言われたら…

峰山 さん？
八代 なんか綾香思い出してもうて
峰山 アイツお前になついとったもんな
河本 (近づいて、さも同情するように深くうなずいた後、財布から千円を出して八代に) 少ない
八代 けど
河本 ……
八代 これからは地に足をつけて、地道に頑張つて
河本 ……道歩いとつたらな
八代 ん？
八代 道端に落ちてる犬のウンコがむっくり起き上がつてな、俺を指さして「君は臭いぞ、でもめげ
るな！応援してる！」って
河本 ん？どういうこと？
八代 今そんな気分や。(千円を叩きつけて) お前にだけは言われたないんじゃーっ!!
河本 人のことをゲロとかウンコとかーっ!! っ!!
沢野 今のはお前が悪い
峰山 千円で

— 早希、タバコを買って戻って来た —

早希 あれ？また喧嘩？
峰山 うん、今度は
早希 仲悪いな—
八代 こいつ腹立つねん。特に顔
河本 関係ないよね
早希 わかるけど
河本 えーっ?!
早希 (沢野に) はい、タバコ
峰山 お金作れんかったらしいわ
早希 え？
八代 言わんでええて
峰山 ええカツコやめえ言うねん
河本 そういうとこだよ
八代 うるさいわ
峰山 コイツ仕事でこち来たんちゃうかってん
早希 そうなん？
峰山 金を持ち逃げしたヤツ追いかけて、でも、あかんかったんやて
早希 持ち逃げ…
峰山 子どもが病気でお金いる言う与太話信じて
八代 与太話とは決まってへんやろ
早希 ……ヤッシーらしいわ
峰山 でもコイツのこいうどうしようもないとこ……好っきゃねん!
八代 やめてくれ!
沢野 溜めたなあ
河本 こいちで気持ちこもってましたね
早希 で、どないするん?
八代 とりあえず、こいにおつてもしやーないから

沢野 事務所の社長に言うたらええやんけ。マネージャーの不手際やろ
八代 マネージャー俺が連れてきたヤツやから
沢野 せや言うても
八代 そもそも借金作つてもうた事も話してへんし
早希 そうなん？
八代 オレ前にもちよつと問題起こして、でもその時はもみ消してもらつて。次はないつて釘さされ
てるから。それに
河本 (関西弁で)それに、どうせこの世界で生き残る見込みない俺みたいなお荷物に、金なんか
都合してくれる訳ない。借金のこと知れたら、即クビや。……てことだ
八代 こいつホンマ、ムカつくわあ
藤堂 でもそういうことですよ

― 藤堂いつの間にか来ていた。袋からドーナツを出して食べている ―

八代 あ……
藤堂 (ドーナツを八代に)あ、良かったら食べますか？
八代 ……いえ
藤堂 あー、どうしょ……困つたな
八代 ……すいません
藤堂 え？まさかそのマネージャーさんみたく、逃げる気だつたんじゃないですよ？
八代 いや、違います。とりあえず東京戻つて……
藤堂 戻つて……仕事ないんですよ
八代 ……
藤堂 回収厳しそうだな
河本 とりあえずシューマ売ります
八代 お前！
峰山 ええやん。まずそつからやろ
藤堂 ダメですよ、あんなのお金にならないもの。傷だらけで
沢野 傷だらけ？
藤堂 しょつちゆうぶつけるから、フロントなんかひどいもんです。斬られの与三みたいになつちやつ
て
早希 何それ？
峰山 (頬を指でなぞる)こーいう……
河本 宝の持ち腐れだ
八代 俺の本物志向に運転テクが追い付かなくて
沢野 何言うとんねん
八代 ギヤラが入ったら修理するつもりやつてんけど
藤堂 でも入る予定ないんですよ
八代 なんとか頑張りますんで
藤堂 いやあ無理でしょ。その方がさつき言つてたみたいに、お払い箱になるのわかつてるから、事
務所にも相談出来ないんですよ
八代 それは……
藤堂 あ、そう言えばね、前にちよつとドラマに出てましたよね。見ましたよ
八代 あ、そうなんです。あーいった仕事が増えたらすぐにも
藤堂 いやー、それはないでしょ
八代 いや、そんなことは

藤堂 だって、素人目に見たって……ねえ(笑)

八代 え？

藤堂 あれ？自覚ないんですか？すごいな。じゃあ私が言ってあげますけど、(耳元で)あんたのお芝居ね、最低でした。ダメな人間はね、何やってもダメなんですよ

— 峰山、沢野が履いてる靴下を脱がせて藤堂に思い切りぶつける —

藤堂 ……!

峰山 わかったようなこと言わんとつてくれ、お前にコイツの何がわかんねん

八代 啓太

— 峰山、沢野にもう片方よこせとばかりに手を伸ばす。沢野、気が付いて靴下脱いで渡す

峰山、靴下を武器のように振り回しながら —

峰山 なめんなよ、ここの住人は免疫出来とるけどな、ちょっと生命力の弱い虫くらいやったら、

駆除するくらいの力あんねんぞ

河本 そうだ、間違つて犬が嗅いだりしたら、大変なことになるぞ！

峰山 お前が犬を飼つてる部屋に大量に送り付けてやろうかー！

沢野 お前ら、俺とそいつのどつちを攻撃してんねや

八代 やめてくれ

峰山 せやけど

八代 これは、俺の問題やから

藤堂 なんなんですか一体？

八代 すいません

藤堂 あー、……こりや田舎の親御さんに頼むしかないかな

八代 いや、それは……

藤堂 でも、あんまりお金持つてそうじゃないですもんね

八代 そうなんですわ

藤堂 ちゃんと保険入ってるかな

八代 え？

藤堂 いやー、ホントに田舎だね。あんな人気のないところ、階段で後ろからいきなり「ドンッ！」

てやられても、犯人捕まんないだろうなー、怖いなー

八代 ……

藤堂 それとも手つ取り早く……あんた、死んでみる？

八代 ……!

藤堂 ……(笑)冗談ですよー、そこまでしなくてもね、他に色々方法ありますから。(タバコを出

して)あ、すいません、灰皿あります？

— 早希、ずかずかと藤堂の正面まで歩いて、啜ってるタバコを勢いよく投げ捨てる —

藤堂 ……!

早希 ここ禁煙なんで

藤堂 あ、そうですか。それは失礼しま……

早希 あと……

藤堂 え？

早希 ……死ぬとか……殺すとか

藤堂 はい？

早希 ……サラツと口にしてんなーッ!!おんどれ、終いにやぶつ殺すぞーッ!!
藤堂 ……!!

河本 ……早希さん

沢野 お前も言うたぞ

早希 (勢いそのままに)あ?!

沢野 ぶつ殺すつて、今

早希 ……あー……ちやう、えーと……ケツの穴から手エ突っ込んで、あー……肋骨ガ

全員 ……タガタ言わせんぞー!!……

早希 ……あ、違う、奥歯か!奥歯……

沢野 ……どつちでもええがな

――藤堂、しばらく驚いて固まっていたが、笑い出して――

藤堂 ケツの穴つて……いやー、女性にそんなことされた日にや、殺された方がよっぽどマシですね

――早希、何を思ったか積んである引越しの荷物の中の段ボールをひっくり返し、中身を
出す。その中から通帳を出して、藤堂に投げつける――

河本 早希さん?

早希 それで足りるはずや

河本 え?!

沢野 早希

八代 ちよつと待てや

早希 ええねん。しょうもない金やねん。あたしと血い繋がってるだけの母親が、あたしと縁

切るためによこした金や

沢野 ……早希、お前

早希 ……しょうもない金やねん。……せやから……ええねん

――早希、突然気を失って倒れる。暗転……

明転。深夜なのか薄明り。早希、二階からふらふら降りてきて、誰もいない広間の
テーブルに座ってボーっとしてる。と、冷蔵庫の扉が開いて、中から香織が出てくる

早希 ……熟睡

香織 死んだように寝とつたな

早希 ネエさんがそれ言う?

香織 ……うん、妙やな。せやけど太っ腹

早希 ええねん

香織 あいつ返せるかわからんで

早希 ええねん。いらん金やし

香織 ……

早希 ……あたしのおとんとおかん、別れとんやけど

香織 うん

早希 おかんはどこぞの金持ち捕まえて、新しい家族つて

香織 やるよるなあ

早希 あたしはおとんに引き取られて、せやけどろくでもないおとんで、最後は拘置所の中で

病気で亡くなつて

香織 男はどうしようもないな

早希 おとんが亡くなった事だけは伝えよう思つて、せやけど連絡入れても……

香織 うん

早希 ある日、おかんから「もう連絡しないで下さい。」でメールと。生活の足しにて、勝手に500万振り込まれて

香織 ……うん

早希 頭来て。銀行から速攻引き出して、顔に叩きつけたろつて、…信号変わるのも待つたられへんかった

香織 ……

早希 ……そんなしょうもないことで…あんな金のせいで…ちゃう…あたしの…

— 香織、ふいに言葉を振り切り切るように立ち上がり、荷物の中から絵本を取り出して移動

早希から離れた別の椅子に腰かけて一人で読みだす。しばらく前から沢野が来ていて様子を見ていた —

早希 ……!

沢野 目え覚めたんか

早希 うん

沢野 急に倒れるからビックリしたわ

早希 久しぶりに頭に血い上ったから

沢野 いびきかいとつたぞ。医者に聞いたら寝不足ですわね。なんやソレ

早希 ここんとこちゃんと寝てへんかったから。寝たらネエさん出てくるし

沢野 ええやんけ。ちゆうか、お前しよちゆうアイツと話しとるやないか。今も

早希 あたしが勝手に頭の中でこさえてるだけや

沢野 最初幽霊見えてんか思つてびびったわ

早希 あたしの都合のええことしかしやべらへん

沢野 ……

早希 ホンマにせなあかん話は…できへん

— 沢野二つ持つてた缶ビールの一つを早希に渡す。早希、開けて飲む —

沢野 夢の中のあいつはどんなやねん

早希 みんなでアホな事ばかり言うたり、やつたり…せやけどあたしはホンマに言わなあかん

沢野 …… こと、聞きたいことがあるのに、ずつと言われへん

早希 …… 言わな、言わなつて思いながら…アホな話ばかりして…笑つてるねん

沢野 …… いつや？昔のこと思い出したん？

早希 ちゃんと記憶が戻ったんは、ネエさん亡くなる半年くらい前。…でもその前から知つて

沢野 た。自分で調べた。ネエさんの子ども死なせてもうたん自分やつて

早希 それはちやうやろ、お前は関係あれへん

沢野 …… 関係あれへん訳ないやろ

早希 ……

沢野 …… ネエさんは、あたしに言いたかったことがあるはずやつてん

早希 ……

沢野 …… あたしの記憶が戻るんずつと待つてたはずやねん

早希 ……

沢野 ……ちやうどこれくらいの時間やったかな
早希 ん？
沢野 ……あいつが亡くなるちよつと前に、こゝろ話したことある
早希 ……
沢野 そこに座つて…薄明りの中、あいつ絵本読んどつた

— 沢野の話の途中で、早希をそのままに、時間は過去のある夜の出来事に —

香織 (沢野に気付いて)うわ！びっくりした！いつからおつてん？

沢野 ビックリしたんこつちや、こんな時間にそんなとこで佇むな、泥棒や思うやないか

香織 油断も隙もない

沢野 こつちのセリフや…(香織の読んでる絵本を指し)それ

香織 ……うん

沢野 何べんも読み聞かせられたわ

香織 ホンマは逆やねんけどな。普通は大人に読んでつて頼むもんやけど

沢野 何べんも読みたがるから、かなんかった。毎回リアクションせんとアイツ怒りよつたから

香織 (笑)ごめんな—

沢野 八代はうまいねん、毎回新鮮にリアクションとりよる

香織 ヤツはお笑いより役者の方が向いてる

沢野 そうなんけ？

香織 うん、綾香もなかなか見どころあるつて褒めてた

沢野 どういう立場からやねん

香織 (笑)

沢野 ……ホンマに本好きやったな

香織 ……あの時も

沢野 ん？

香織 事故の時も手に持つてたみたいやから

沢野 ……

香織 この表紙の絵が好きやったから、ぼーつと眺めてたんやと思うわ

沢野 ……

香織 歩きながら読むな—つて言うてたのに…アホやな—

沢野 ……つらないんか？

香織 ん？

沢野 早希と一緒におつて

香織 ……

沢野 今更やけど、なんでアイツこゝろに連れて来たんや

香織 あんな状態でほつとくのも

沢野 お前には関係ないこつちや

香織 ……

沢野 自分と似た境遇やからか？

香織 自分でもようわからへんねん…怒りのぶつけどころが欲しかっただけや思う。あんたが

沢野 信号守つとつたらつて、そもそもそこにおらんかつたらつて

香織 ……

沢野 記憶失くしてつて聞いた時は卒倒したわ。そんな奴に文句言うても…せやから、

香織 あの子が自分を取り戻す瞬間を、取り逃がしたくなかつたんやな

沢野 そうか

香織 甲斐甲斐しく面倒見てたんは、あの子にあたしの苦しみをちよつども分けてやりたかつただけや

沢野 最初は…

香織 ……うん

沢野 ……いつからや、変わったんわ

香織 ……笑つてもうたんよ

沢野 ん？

香織 記憶はサッパリやけど、身体はすっかりようになった時に、あの子なりの御札のつもりやったんやろ？ 足つぽマツサージやったるて

沢野 ああ、例のか

香織 そやねん、アイツひどいやろ

沢野 人が痛がるの見るの好きや言うてる

香織 その時もええて言うたんやけど、どうしても言うから。そしたらこんな棒でグリグリグリーつて

沢野 早希のアレめつちや痛いねん

香織 頭おかしい。痛い痛い痛い痛い痛いのけぞつて痛がったら、アイツそれ見てゲラゲラ

笑うて、うちもついづられて笑うて…二人で一緒に笑うて…そしたら…今度は涙止まらんようになって

沢野 ……

香織 頭では分かつてたんよ

沢野 ん？

香織 あの子が悪いわけやないつて

沢野 おう

香織 せやけど、どうしようものうて

沢野 わかつてるて

— 香織、沢野の持つてる缶ビールを奪つて、勢いよく飲む —

香織 うまー…！

沢野 ……

香織 昔見た映画のセリフにあつたんやけど

沢野 おう

香織 喜びは分け合々と大きくなって、哀しみは分け合々と小さなるそうやで。

沢野 おう

香織 うちそれ聞いた時、なんちゆう素敵言葉やって思つて

沢野 せやな

香織 ……せやけど

沢野 うん？

香織 ……どうせ分け合うんやったら、辛いことより、……やっぱり楽しいことの方がええな
当たり前やんけ

香織 (突然早希に向かつて) 気付いてたで

早希 ……え？！

香織 記憶戻つてたん

早希 え？え？

香織 長いことしらばつてくれてから

早希 え？！いつ？！なんで？！

香織 みんなで温泉行ったやん

早希 うん

香織 露天風呂で、ほとんど貸切状態で二人でテンション上がった

早希 うん

香織 あんたふざけて、うちに冷水ぶっかけてきて

早希 そんなことしたっけ？

香織 したわ！仕返しに、おんどりやーッ言うて、湯船に沈めたやろ

早希 あ、せやった

香織 あん時うち、一瞬ようわからんようになって

早希 ……

香織 なんでここに綾香はおらんねやろ、うちは何やっとなやろって

早希 ……

香織 ……なんか下からぐわーって…ぐわーってこみ上げてきて、気が付いたら手に力こもって

早希 うん

香織 ……そしたらあんた途中から全然抵抗せんようになって、顔見たら「好きにしてくれー」

早希 みたいな、むしろ安らかーな顔なってる

早希 うん

香織 その顔見た時、…気付いた

早希 ……ここ全部終わったら楽になるかなーって

香織 アホか、うちが捕まってるがな

早希 そやった

香織 むしろ逆に抵抗してくれとったら、絶対あのまま沈めてたな

早希 あー、そやったか、失敗したな

香織 せやからうちが捕まるっちゅうねん

早希 ……

早希 ……

早希 ……

早希 ……二人笑う…暗転。
明転すると翌朝、早希一人でソファで寝ていた。毛布が掛けてある。早希起きる

早希 ……

峰山 言い方
沢野 あん時な
八代 女湯で早希が溺れたつて、香織が大泣きしてて
沢野 自分が沈めたくせにな
峰山 せやから
八代 女湯やから俺ら駆け付けようにも駆け付けられへんし
峰山 困ったで
八代 あの後で、香織が間違いない思うつて
早希 ……そうなんや
峰山 お前の誕生日に、もうみんな知ってるて、香織、サプライズ予定してたんやけど、あいつ
早希 その前に…
早希 サプライズで…どこまで(お人好し)…
峰山 なんも変われへんよ
早希 ……
八代 ……まーとにかく……元気だな
峰山 今日引越し手伝ってくれるんやろ
八代 うん、どうせしばらくヒマやし
早希 あ、それやねんけど、
八代 ん?
早希 火事になって査察入つて分かったみたいやねんけど、なんかその建物建築法違反してたらしくて
八代 は?
早希 入居はちよつと見合わせて下さいつて、さっき連絡が
全員 ……
早希 ……引越し、出来ひんようになつてもうた
全員 ……
早希 あの、こちらの部屋の空きは……?
沢野 ガラガラや
峰山 聞くまでもないやろ
早希 ほな、まあ、そういうことで
沢野 ……コイツの荷物二階戻したつてくれ!
八代 なんやそれ

— 峰山と八代、荷物を運びながら —

峰山 お前もこの際戻つて来たらどうや
八代 いや、俺は
峰山 もつへんこつちでしつかり足場を固めて。俺マネージャーやつたらか?
八代 全力で遠慮するわ
峰山 お前の良さが一番分かってるんは俺や
八代 いらんつちゆうねん
沢野 壁傷つけんようにしてくれや

— 沢野の誘導で三人去る。早希、一人になり、絵本を手に取り、自分の荷物の中に戻して、箱を持ち上げる。と、香織が見ているような気がして後ろを振り返る。……が、そこには誰もいない —

早希
…

— 暗転 —

— おわり —

※ 引用 鋼鉄ジューグ（作・永井豪）六頁
ど根性ガエル（作・吉沢やすみ）十五頁